

社会福祉法人慈雲会平成28年度事業計画

○経営理念・運営理念・組織目標

- 1 経営基盤の確立・強化
- 2 利用者サービスのより一層の向上
- 3 安全と安心を利用者に信頼される運営

1 介護報酬による経営基盤の強化・確立をめざす。

平成26年5月から、事業を開始して以来、2年すぎましたが、当初の単価には及んでいません。当初の単価設定、経営指標に対して今後の施設経営にとって依然として影響を及ぼしています。

特に民間の特別養護老人ホームは、いよいよ行政への依存から脱却して自力による経営基盤の強化を図るために、より一層の創意と工夫を行わなければならない。現状では短期入所事業所事業の利用率向上を図ることが、第1の目標です。

そこで、平成28年度を「経営体制変革のスタート年」とし、3か年計画で経営体制の確立をめざします。具体的には、法人各事業所の数量的な目標を設定し、収入増の具体的な方策と支出削減のための徹底的な経費削減に取り組み、また、新規事業として訪問介護、訪問看護、そして居宅介護事業所を開設し経営改善計画を策定します。

<平成28年度～30年度迄の共通目標>

各施設が各年度ごとに目標値を設定し、3か年で目標達成をめざす。

- (1) 特養入所率 定員の98%以上
- (2) ショートステイ充足率 100%
- (3) 訪問看護、訪問介護、居宅介護事業所の創立
- (4) 介護付き有料老人ホームの移管
- (5) 葬祭業の移管

2 サービス提供体制強化のための方策

(卓越したケアサービスをめざす)

○法人事業所の増加に伴い共通の「ケアサービスの質の向上」をめざした横断的な委員会を発足させる。また、各委員会には担当施設長を決め、施設長会との連携をとりながら、スピーディな決定と実行をめざす。

○各事業所の経営体制を上記1の目標を達成するため、新しく「施設長連絡委員会」を発足させ、各事業所の経営状況を把握、分析を行う。

○職員の意識改革と資質の向上（各種研修への積極的参加により各職種ごとのスキルアップを図る）

○法人主催の職員研修会を充実させる。

3 法人ホームページの開設

平成28年後期より法人の事業概要、各事業の紹介や事業者ごとの活動状況を、従前の「施設台帳」の項目等を参考にホームページによって公開していく。

4 第三者評価事業への取り組み

東京都では、施設のサービス状況やその内容を、都民に公開し、福祉施設情報をインターネット上で得られるようにすることを目的に、第三者評価事業を開始した本年前半6月までに受審する。東京都より補助を得て受審する。第三者評価受審後指摘事項について検討を加え改善する。

5 利用者サービスの向上

- ① グループケア・ユニット型による個別ケアの充実
- ② 「身体拘束ゼロ作戦」への取り組み
- ③ 自己評価事業の継続的取り組み
- ④ ボランティア等の受け入れと地域交流の推進
- ⑤ リスクマネジメントの体制構築